



平成25年度千葉県緊急雇用創出事業

# 勝浦の豊かな自然を確かめる事業 ～ 概要版 ～



千葉県勝浦市

## 1 勝浦の豊かな自然を確かめる事業

**目的** 勝浦市の豊かな自然環境を保全するための戦略を考えていくうえで、市内における環境指標生物の生育及び生育状況等を調査、把握し、今後の自然環境保全の推進に係る基礎資料の収集、整理を目的として、千葉県緊急雇用創出事業を活用し、一般財団法人千葉県環境財団に委託して実施しました。

また市内での小水力発電の適地を探るため、河川等の水量調査等も実施しました。

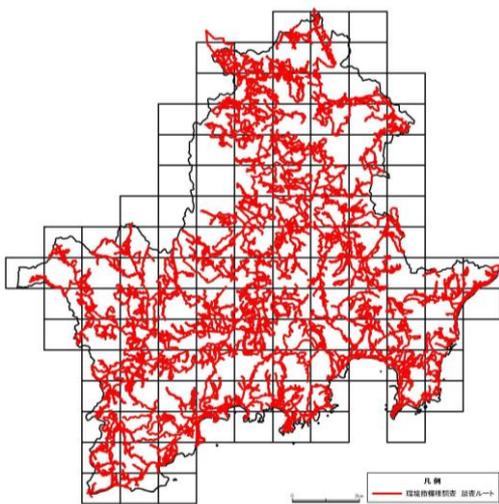
**期間** 平成 25 年 4 月 26 日～

平成 26 年 3 月 31 日

**場所** 海域や危険な場所及び立ち入りできない場所を除いた勝浦市内全域

**調査** ①環境指標種調査  
②生物専門調査  
(植生※<sup>1</sup> 図調査、植物相※<sup>2</sup> 調査、哺乳類調査、鳥類調査、谷津※<sup>3</sup> の水生動物調査、ゲンジボタル類調査、淡水性カメ類調査)  
③小水力発電※<sup>4</sup> 適地調査

**方法** ハンディー型GPSを携帯しての踏査及び既存資料の調査・整理、聞き取り調査を実施しました。また調査方法や種の判別、集計・解析などについては、専門技術者のほか学識者の助言・指導のもと実施しました。



環境指標種調査踏査ルート図

※1 植 生：ある場所に生育している植物の集団。

※2 植 物 相：一定の区域内に分布する植物の種類。

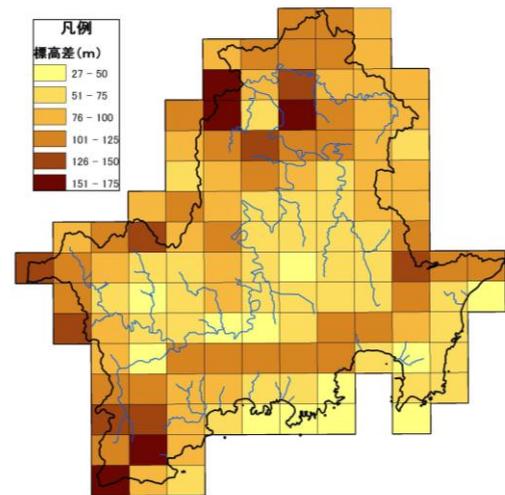
※3 谷 津：丘陵地が長い時間をかけて浸食され形成された谷状の地形。

※4 小水力発電：ダムのような大規模な施設を使用せず、小河川・用水路・水道施設などを利用して行う小規模な水力発電。自然環境への負荷が少ないなどの利点がある。

## 2 勝浦市の地形など

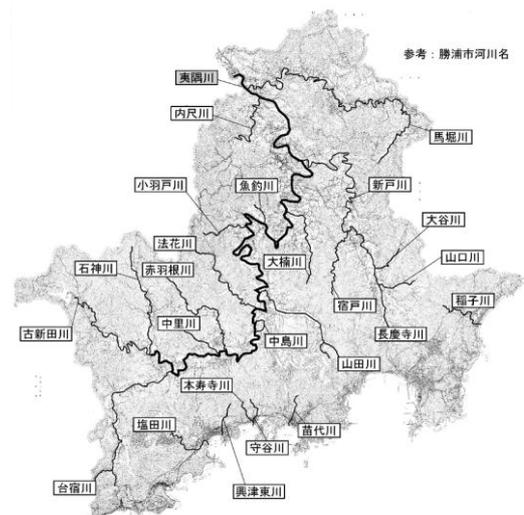
市内の地形は、夷隅川の西側に標高・起伏のやや大きい清澄山山塊、東側には西側に比べて標高・起伏の小さい夷隅丘陵に区分されます。

また表層地質で最も古い時代に形成された地層は夷隅川上流の大沢地区周辺に分布する天津層で、南西から北東へと新しい時代の地層が分布しています。また黒滝層より東の地層では堆積の不連続面があり、南から北へ時代の新しい地層が分布しています。



標高図

市内には夷隅川水系などの河川及び沢などの支流が縦横に流れており、また直接海へ流入している河川も多くあります。



主な河川図

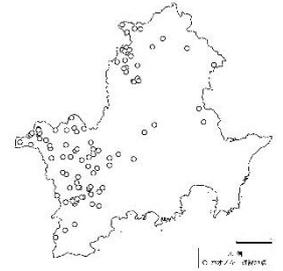
### 3 環境指標種調査 - 生物の分布① -

市内の動植物の生息・生育状況を把握するため、環境指標性や希少性の高い種で、判別しやすい動植物を環境指標種として選定しました。植物は60種（うち補足対象種30種）、動物は50種（うち補足対象種25種）を選定し、総確認地点8,642地点（重複を含む）において分布等の確認調査を実施しました。

分類	調査対象種名	地点数	県RDB※5		
植 物	オシダ科	ジュウモンジシダ	241		
	ウラボシ科	マメヅタ	105		
	タデ科	シロバナサクラタデ	15		
	ナデシコ科	カワラナデシコ	3		
	モクレン科	ホオノキ	105		
	クスノキ科	カゴノキ	24		
	キンボウゲ科	ニリンソウ	8	D	
	ドクダミ科	ハンゲショウ	55		
	コショウ科	フウトウカズラ	193		
	ウマノスズクサ科	カントウカンアオイ	257		
	ユキノシタ科	タコノアシ	50		
	バラ科	ワレモコウ	108		
	ツリフネソウ科	ツリフネソウ	12		
	ヤブコウジ科	イズセンリョウ	286		
	リンドウ科	リンドウ	182		
		センブリ	14	D	
	ガガイモ科	キジョラン	130	D	
	アカネ科	オオアリドシ	133	D	
	キク科	カントウタンポポ	80		
	ユリ科	ヤマラッキョウ	32	D	
ミクリ科	ミクリ(ミクリ類)	7	C		
動 物	ラン科	クマガイソウ	24	B	
		ミヤマウズラ	25	D	
		シュスラン	51	C	
		コ克蘭	376	D	
		エビネ	160	D	
		ナツエビネ	242	C	
		巨樹	68		
		哺乳類	ノウサギ	99	
			ニホンリス	6	C
			カヤネズミ(巣)	64	D
鳥類	ホトトギス	153	C		
	カワセミ	61	C		
	ツバメ(巣)	54	D		
	オオヨシキリ	80	D		
	セッカ	9	D		
爬虫類	ニホンイシガメ	96	A		
	ヒガシニホントカゲ	95	B		
両生類	トウキョウサンショウウオ	134	A		
	アカハライモリ	91	A		
	アカガエル類(卵塊)	143			
	トウキョウダルマガエル	110	B		
	ツチガエル	33	A		
昆虫類	モリアオガエル	193	C		
	モノサシトンボ	3	C		
	アサヒナカワトンボ	42			
	ヒガシキリギリス	8			
	クチキコオロギ	117	D		
	ゲンジボタル	52	B		
	ヤマトシリアゲ	56	D		
魚類	ホトケドジョウ	212	C		
甲殻類	サワガニ	239	C		

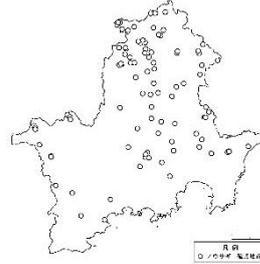
#### ホオノキ

落葉高木。花期は5月～6月。市西部と北部の樹林内に偏った分布を示しました。



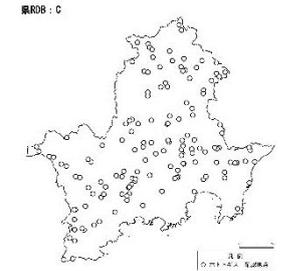
#### ノウサギ

主に夜行性の草食性哺乳類。市東部から北部にかけて多く確認されました。



#### ホトトギス(県RDB:C)

カッコウ属の一種で、カッコウと同じく他の鳥類の巣に卵を産む(托卵)。市内の樹林等で広く確認されました。



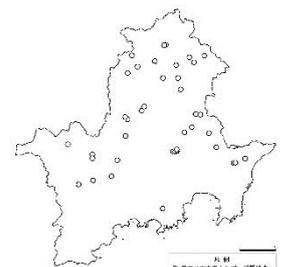
#### トウキョウダルマガエル(県RDB:B)

市西部中央部にかけての低地で面積の狭い谷津で多く確認されました。市南部の谷津では確認されませんでした。



#### アサヒナカワトンボ

全長4～6cmのイトトンボ亜目。南部の谷津では確認が少なく、内陸部の谷津や河川周辺で多く確認されました。



※5 県RDB:「千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編(2009年改訂版)」  
「千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編(2011年改訂版)」における分類  
A: 最重要保護生物 B: 重要保護生物 C: 要保護生物 D: 一般保護生物

## 4 生物専門調査 - 生物の分布② -

環境指標種調査等以外の専門性を必要とする生物調査を実施しました。確認された中には希少種とされる種が多く含まれていました。

### 【植物】

フウラン（県RDB：A）やウメバチソウ（県RDB：B）など、維管束植物 150 科 981 種が確認されました。



フウラン（県RDB：A）



ウメバチソウ（県RDB：B）



ナギラン（県RDB：B）



アケボノソウ（県RDB：B）

### 【鳥類】

イソシギ（県RDB：A）、アマツバメ（県RDB：A）など、34 科 87 種が確認されました。



イソシギ（県RDB：A）



アマツバメ（県RDB：A）



コチドリ  
（県RDB：B）



ハチクマ（県RDB：B）



センダイムシクイ（県RDB：C）

### 【魚類】

スナヤツメ（県RDB：A）、ギバチ（県RDB：B）など、14 科 33 種が確認されました。



スナヤツメ  
（県RDB：A）



ギバチ（県RDB：B）



モツゴ（県RDB：D）

### 【底生動物<sup>※6</sup>】

オジロサナエ（県RDB：A）、トゲナシヌマエビ（県RDB：A）など、52 科 82 種が確認されました。



トゲナシヌマエビ（県RDB：A）



オジロサナエ（県RDB：A）



ベンケイガニ（県RDB：B）

### 【爬虫類・両生類】

アカウミガメ（県RDB：A）ニホンアカガエル（県RDB：A）などが確認されました。



アカウミガメ（県RDB：A）



ニホンアカガエル  
（県RDB：A）

※6 底生動物：水域に生息する生物の中でも水底の岩・砂・泥などに生息する生物の総称。ベントスともいう。

## 5 その他の調査 - 外来種などの分布 -

環境指標種のほか、特定外来生物を含む外来種など8種について分布の確認を行いました。

分類	調査対象種名	地点数	備考※7
植物	ウリ科	アレチウリ	4 特定外来生物
	キク科	オオオナモミ	118 要注意外来生物
		ウラジロチチコグサ	303 外来種
動物	両生類	ウシガエル	125 特定外来生物
	哺乳類	アライグマ	4 特定外来生物
		ハクビシン	1 外来種
		キョン	144 特定外来生物
爬虫類	ミシシビアカミガメ	6 要注意外来生物	

アレチウリ

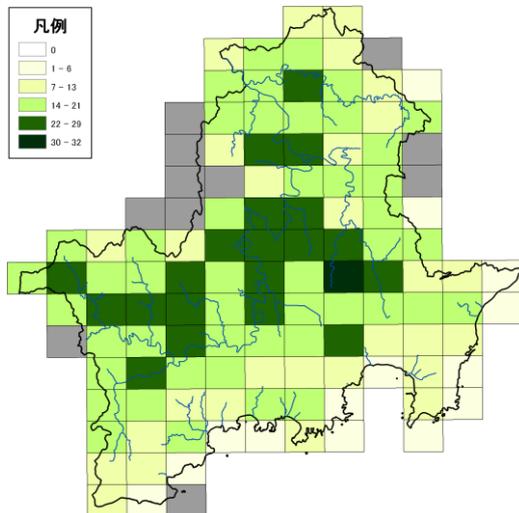


ウシガエル



## 6 調査結果 - 整理・解析 -

豊かな自然の指標である環境指標種の種類がどの地域に多いのかを示しました。自然環境保全の視点から、環境指標種の確認種数が多い地域（緑色の濃い地域）が孤立せず、連続していることが重要です。



行政3次メッシュ解析結果（植物+動物）図

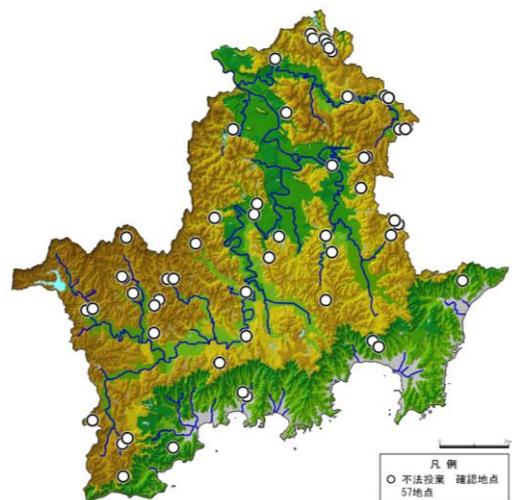
## 7 小水力発電適地調査

平成20年に「新エネルギー」として認定された1,000kW以下の小水力発電の導入の可能性を検討する基礎資料とするため、夷隅川4箇所、新戸川2箇所、台宿川、内尺川の計8箇所でも適地調査を実施しました。

年間発電量や土木施設工事の規模、施工性等の要因を勘案した結果、夷隅川のうち1箇所が実現の可能性があると判断されました。

## 8 不法投棄調査

環境指標種調査に併せて、市内の不法投棄の確認も行いました。その中で、放置自動車やブラウン管テレビなどの家電、廃タイヤなど、多種多様なゴミの不法投棄が57地点で確認されました。



不法投棄確認地点位置図

※7 外 来 種：原産地より意図的あるいは偶然に運ばれて、新たな場所に定着した生物種。  
 要注意外来生物：外来生物法による規制の対象外だが、注意喚起が必要な外来生物。  
 特定外来生物：外来生物法で指定された生物。生態系に被害を及ぼす可能性のある外来生物。

# 勝浦市内で確認された動植物

## ～ 生息・生育が多く確認された地区 ～

### 上野地区



センブリ (県 RDB:D)



カマツカ (県 RDB:B)



ヒメハルゼミ (県 RDB:D)



タゴガエル (県 RDB:B)



ミサゴ (県 RDB:B)



ハンゲショウ



オオゴキブリ (県 RDB:D)

### 総野地区



オオバン (県 RDB:C)



ツリフネソウ



ヒガシキリギリス



ヤマトシリアゲ (県 RDB:D)



ジムグリ (県 RDB:B)



ワレモコウ



ヒガシニホトカゲ (県 RDB:B)

### 興津地区



フジナデシコ



ホトケドジョウ (県 RDB:C)



ツバキ



ツバメ (県 RDB:D)



チュウシャクシギ (県 RDB:C)



シロバナサクラタデ



ヒナガマキリ (県 RDB:D)

### 勝浦地区



ハマカンゾウ



コサギ (県 RDB:C)



キアシシギ (県 RDB:C)



ボタンボウフウ



モノサイトンボ (県 RDB:C)



オオキンカメムシ (県 RDB:C)



カワラナデシコ

# 勝浦市内で確認された動植物 ～ 希少種 ～

## 植物



キンラン (県 RDB:D)



カゴメラン (県 RDB:A)



ソナレムグラ (県 RDB:B)



スカシュリ (県 RDB:C)



ハマニガナ (県 RDB:D)



タコノアシ



ハマオモト (県 RDB:A)



オオシマシュスラン  
(県 RDB:A)



クマガイソウ (県 RDB:B)



シュスラン (県 RDB:C)



ナツエビネ (県 RDB:C)



キリンソウ (県 RDB:C)



マルバチシャノキ (県 RDB:C)



コ克蘭 (県 RDB:D)



ヤマラッキョウ (県 RDB:D)

## 動物



キンブナ (県 RDB:C)



トラグミ (県 RDB:A)



モリアオガエル (県 RDB:C)



コシアカツバメ  
(県 RDB:B)



ゲンジボタル  
(県 RDB:B)



チュウサギ (県 RDB:B)



アカハライモリ  
(県 RDB:A)



ニホンイシガメ (県 RDB:A)



ヒメアカネ (県 RDB:A)



トウキョウサンショウウオ  
(県 RDB:A)



サワガニ (県 RDB:C)



ウミウ (県 RDB:B)



クチキコオロギ (県 RDB:D)



ジズカケハゼ  
(県 RDB:A)



カワセミ (県 RDB:C)



平成25年度千葉県緊急雇用創出事業  
勝浦の豊かな自然を確かめる事業 ～ 概要版 ～

発行年月日：平成26年9月

編集・発行：勝浦市 生活環境課

〒299-5292

千葉県勝浦市新官 1343 番地の 1

TEL0470-73-6639 FAX0470-73-8788

<http://www.city.katsuura.lg.jp>

この冊子は、平成25年度に実施した「勝浦の豊かな自然を確かめる事業」の内容を分かりやすくまとめたものです。



勝浦カッター